

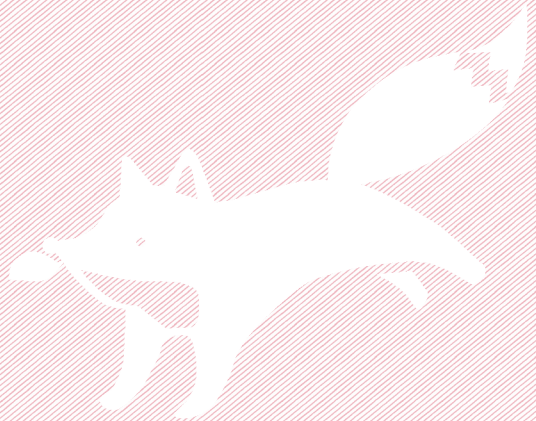
H

A

N

D

A



第3編 ● 基本計画

第1章

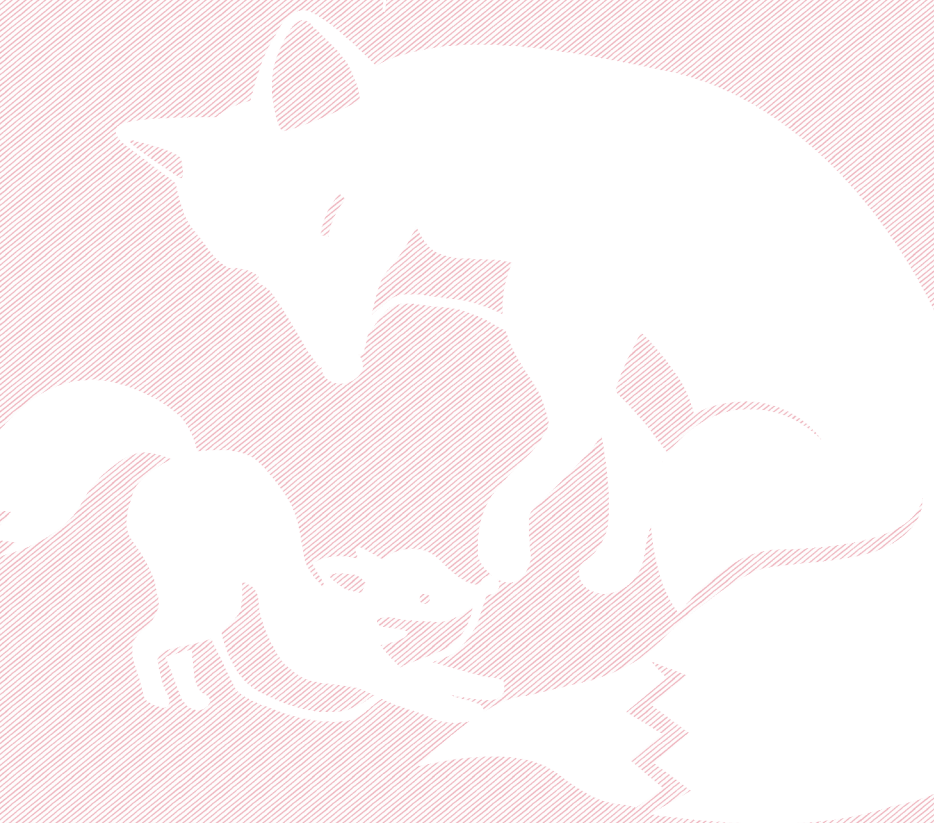
学びあい育ちあう
自分らしさと夢を育むまち

基本施策 1 育ちの支援 ……30

- 1 子どもと子育て家庭 ……31
- 2 幼児教育・保育 ……31
- 3 義務教育 ……32

基本施策 2 学びの応援 ……34

- 1 学びの推進 ……35
- 2 文化の振興と継承 ……35



育ちの支援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 子どもたちが夢や目標を持ち、豊かな人間性・社会性、健やかな心と体が育まれています。
- 地域に見守られながら、子どもたちが安心・安全に楽しく、充実した生活を送っています。

基本成果指標

	単位	現状値		目標値	
		年度	基準値	2025(R7)年度	2030(R12)年度
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	%	2019 (R1)	82.1 (小6) 65.6 (中3)	83 (小6) 68 (中3)	85 (小6) 70 (中3)
半田市で子育てをして良かった、子育てをしたいと思う市民の割合	%	2020 (R2)	52.6	60	65

現状と課題

- 必要な支援を切れ目なく提供するために、相談窓口の統合が必要です。
- 夫婦共働き家庭の増加や子どもを取り巻く環境の変化に対応するため、安心・安全な放課後等の子どもの居場所が求められています。
- すべての子どもたちが健やかに成長するために、子育て家庭が孤立しないよう、地域と連携した子育て支援事業の充実が必要です。
- 低年齢児保育や幼保一体化、延長保育、特別な支援の必要な子どもへの教育・保育、特徴ある教育・保育など多様化するニーズへの対応が求められています。
- 年度途中に発生する低年齢児の待機児童対策が必要です。
- 市内には、普通科のほか、農業・工業・商業などの専門学科を学ぶ高等学校、大学など多様な教育施設があり、教育環境が充実しています。
- グローバル化、ICT化など多様化する学習内容・学習形態の変化に対応することが必要です。
- 児童生徒の抱える悩みや様々な問題に対し、柔軟に取り組むことが必要です。
- 本来の教育活動に必要な時間を生み出す教員の働き方改革が必要です。
- 学校を始めとする各施設の老朽化が進んでいるため、施設・設備の改修・更新が必要です。

単位施策・個別施策

1 子どもと子育て家庭

① 切れ目のない体制の整備

安心して子どもを産み育てられるよう、必要な知識や子育て情報を提供するとともに子育て家庭に寄り添い、妊娠期から出産、子育て期まで切れ目なく支援します。

② 健全育成のための環境づくり

子どもたちが心身ともに健やかに育つための良好な環境を保ち、放課後等の安心・安全な居場所づくりに取り組みます。

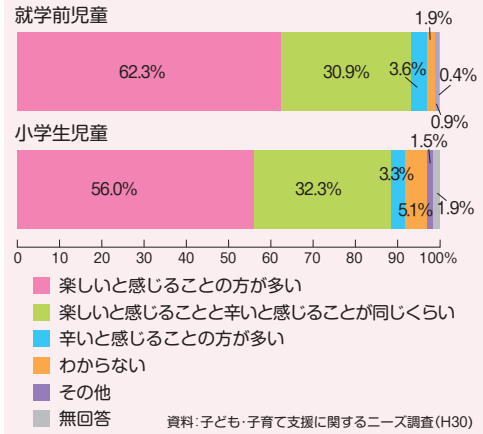
③ 子どもの個に応じた支援の充実

すべての子どもが自分らしく成長できるよう、子どもや家庭に必要な配慮やきめ細やかな支援を実施します。

④ 地域で子育てを支える仕組みづくり

子育て家庭が孤立することなく安心して子育てができるよう、身近な地域で支える関係や仕組みづくりを進めます。

子育ての楽しさアンケート



リーディング事業

- 母子保健・子育て支援サービス利用者支援相談事業
- 地域子育て支援拠点事業
- こんにちは赤ちゃん訪問事業
- 放課後児童健全育成事業

2 幼児教育・保育

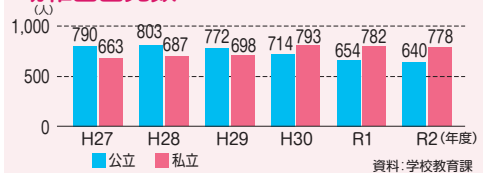
① 幼児教育・保育の質の向上

職員研修の充実などにより教育・保育の質の向上を図り、幼児期に必要な力を育てます。また、幼保小中・家庭・地域との連携、子育て相談、特別な支援の必要な子どもへの教育・保育などを推進します。

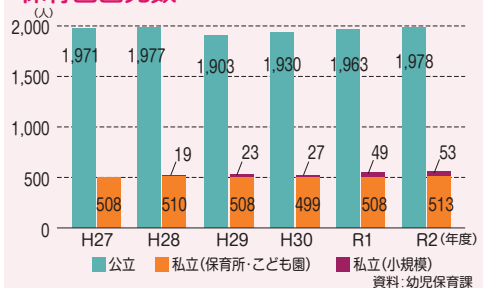
② 幼児教育・保育の環境づくり

公立保育園等において、老朽化する施設の建替・大規模修繕を進めるとともに、身近な地域で、保護者の就労の有無によって区分されることなく、等しく教育・保育を受けることができる「こども園化」や保護者の多様な教育・保育ニーズに対応するために「民営化」を行います。また、あわせて待機児童の解消を図ります。

幼稚園園児数(認定こども園短時間利用児含む)



保育園園児数(認定こども園長時間利用児含む)



リーディング事業

- こども園化事業
- 公立保育園等民営化事業
- 民間保育所運営事業・地域型保育事業
- 児童発達支援センター地域支援事業



3 義務教育

① 教育の質の向上

すべての子どもが個性を活かした「生きる力」を身に付けられるよう、キャリア教育を基盤とし、学習指導要領等に基づいた教育活動の実施により確かな学力・豊かな心・健康な体を培い、一人ひとりの個性や可能性を伸ばします。また、学校・家庭・地域が連携を図り、地域全体で子どもたちの成長を支えます。

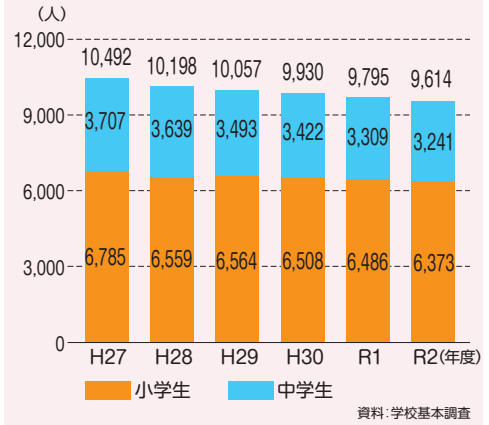
② 個に応じた教育の充実

いじめ・不登校対策、障がいのある子どもや日本語指導が必要な子どもへの支援など、子どもたちの不安や悩みを解消できる体制を整え、個に応じた教育の充実を図ります。

③ 学校環境の向上

安心・安全な環境の確保や、ICT化などの学習形態の変化に対応するとともに、地域コミュニティの核としての役割や、各施設の在り方に相応しい環境づくりを目指した施設の更新(長寿命化改修・改築)を計画的に進めます。

児童生徒数



リーディング事業

- キャリア教育推進事業
- コミュニティ・スクール推進事業
- 学校生活支援事業
- いじめ・不登校対策事業
- 小中学校情報機器整備事業
- 学校施設更新等事業

- 1 相談窓口を統合化し、子どもや子育て家庭に必要な支援を切れ目なく提供する体制を整備します。
- 2 普段は放課後児童クラブ等の子どもの預かり事業を利用していないものの、長期休暇中は日中の子どもを預かってほしいというパート勤務等の保護者のニーズに応える、長期休暇中のみの子どもの預かり事業を実施します。
- 3 小学校の利用状況や更新計画にあわせて、学校内に子どもの居場所を整備します。
- 4 放課後の児童の居場所づくりとともに、小学校区が地域コミュニティの核となるような「一小学校区一生涯学習施設」を基本とする施設整備を図り、地域に適した施設の集約・複合化を進めます。
- 5 キャリア教育について、コミュニティ・スクール制度などを活かし、これまでの学校・行政の取組に加え、保護者・地域の協力を促し推進力を高めます。
- 6 個別の支援を要する子どもたちについて、インクルーシブ教育などの新たなニーズにも柔軟に対応するとともに、就労、高等学校への就学も考慮し、関係機関との連携体制を着実に構築することで切れ目のない支援の充実を図ります。
- 7 日本語を話すことができない外国籍児童等に、初期の日本語指導や学校生活指導を一定期間集中的に行う事業を実施します。
- 8 グローバル化の進展を踏まえ、日本の伝統・文化・歴史などの理解を深めるとともに、外国語教育の充実やICTの活用により、外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成します。

関連
個別計画

- 子ども・子育て支援事業計画
- 障がい児福祉計画
- 保育園等公民連携更新計画
- 学校教育 HANDA プラン
- 小中学校施設長寿命化計画



関連する SDGs



2 学びの応援



施策が目指す半田市の将来の姿

- 生涯にわたり学び続けられる環境が整い、市民が互いに高めあう仕組みができています。
- 市民が多様な文化芸術に触れ親しみ、その価値を見出すことができています。
- 半田の誇る貴重な財産である山車を始めとする文化財や、新美南吉文学を始めとする文化が次世代に継承されています。

基本成果指標

	単位	現状値		目標値	
		年度	基準値	2025(R7)年度	2030(R12)年度
学習活動に取り組んでいる市民の割合	%	2020(R2)	16.1	35	70
文化芸術を鑑賞した市民又は創作活動等に参加した市民の割合	%	2020(R2)	35.3	45	55
半田の歴史や文化に関心を持っている市民の割合	%	2020(R2)	49.8	55	60

現状と課題

- 生涯学習の分野にも社会的包摂の視点が求められています。
- 学びを様々な形でまちづくりに活かせる仕組みが必要です。
- 誰もが利用しやすい学びの環境を整え、より多くの市民に学びの大切さを発信していくことが必要です。
- 生活環境の変化などにより活字離れが進んでおり、各機関が連携した乳幼児期からの継続的な読書支援が必要です。
- 誰もが文化芸術を鑑賞でき、また、表現できる場所や機会の充実が必要です。
- 市の誇る文化や文化財を保存・継承するための資金調達、人材確保が困難になっています。
- 文化財を保存・継承する担い手を育てるには、幼少期から文化や文化財に触れ親しむことができる機会の創出が必要です。

単位施策・個別施策

1 学びの推進

① 市民の学び場づくり

地域や教育機関、企業等とともに、誰もが学びたいときに学べる環境を整え、その成果をまちづくりに活かす仕組みをつくります。また、学びのきっかけや学び直しにつながる情報を発信し、市民の学ぶ意欲を高めます。

② 学びを育む読書支援

学びの習慣が身につくよう、乳幼児期からの継続的な読書支援や知的好奇心を育てる学習機会の充実を図り、市民の学びを支えます。



読み聞かせ会

リーディング事業

- 生涯学習推進事業
- 子ども読書活動推進事業
- 各種企画展開催事業

2 文化の振興と継承

① 文化に触れ親しむ環境づくり

誰もが文化芸術についての価値を見出せるよう、触れ親しめる機会をつくります。また、市民が文化・芸術活動を活発に行えるよう支援します。

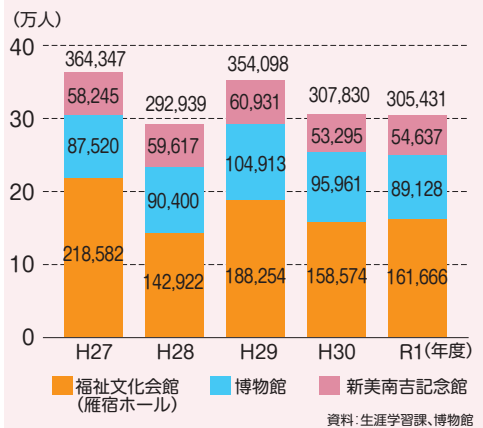
② 文化財の保存と継承

市民の財産である文化財を保存・継承するため、担い手育成を支援します。また、郷土資料の収集、調査、保存に加え、親しみやすい形で情報を発信することにより、市民の文化的教養や保護意識を高めます。

③ 地域文化への愛着と誇りの醸成

半田の特色である山車や醸造などの歴史・文化、全国に知られる新美南吉文学などへの市民の愛着を高めます。また、観光分野などと連携し半田の特色を広く発信することで、市民の郷土への誇りを育みます。

文化施設来館者数



リーディング事業

- 文化振興事業
- 文化財保存修理事業
- 文化財等公開活用事業
- 新美南吉童話賞事業



- 1 学びを提供したい市民と学びを受けたい市民の出会いの場をコーディネートし、幅広い世代間の学びの交流を促します。
- 2 市民が芸術や文化を発表する機会をまちなかで展開し、日常の中に芸術文化を感じられる仕組みをつくります。
- 3 ICTの活用や外国語資料の収集等、障がいのある方や高齢者、外国籍市民等にも配慮した図書館サービスを導入し、読書や情報収集の機会を拡充します。
- 4 破損や劣化の恐れのある図書、古文書を始めとする郷土資料について、デジタル化等による保存を行うとともに、ICTを展示等へ活用します。
- 5 文化財の保存団体との協働により、祭礼・山車文化をより身近に感じられるよう、体験型の展示や講座等を行います。
- 6 「旧中埜家住宅」を始めとした市内の貴重な文化財について、高校生や大学生などの若者が学び触れ親しむ機会をつくり、若者視点での情報発信を行います。
- 7 文化財の保存・継承の担い手及び資金確保に向け、体験型クラウドファンディング等、新たな枠組みの構築に取り組みます。
- 8 市民主体で童話の森・谷地を整備する仕組みをつくり、南吉童話の舞台となった里山景観の保全と新美南吉記念館の魅力向上につなげます。

関連
個別計画

- 生涯学習推進計画
- 地区公民館等長寿命化計画
- 博物館展示整備基本方針
- 子ども読書活動推進計画



関連するSDGs



